

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.8</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室内騒音レベル		1.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		-	-	<b>1.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.3</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>1.7</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		1.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.2</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
1 昼光率		5.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>2.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.8</b>	0.40	<b>2.0</b>	1.00			<b>2.1</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>4.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00			
3 バリアフリー計画		4.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31	-	-			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.7</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		3.2	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	
		精密機器の地下への設置を避けている。					
3	対応性・更新性		2.8	0.29	2.9	1.00	2.8
3.1	空間のゆとり		-	-	2.8	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	-	-	1.0	0.40	
		住戸内の開放性を高めた。					
3.2	荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		2.8	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	2.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.6
1	建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用		2.5	0.20	-	-	2.5
	2.1	自然エネルギーの直接利用	2.0	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	潜熱回収型給湯器の採用	4.9	0.40	-	-	4.9
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	#VALUE!		-	-	
		集合住宅の評価	4.9		-	-	
4	効率的運用		-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1	節水	4.0	0.40	-	-	
		節水コマに加え、省水型機器を取り入れている。					
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
		1	3.0	1.00	-	-	
		2	3.0	-	-	-	
		雨水利用システム導入の有無					
		雑排水等利用システム導入の有無					
2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.63	-	-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.07	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.24	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.68	-	-	
		1	-	-	-	-	
		2	3.0	0.50	-	-	
		3	3.0	0.50	-	-	
		消火剤					
		発泡剤(断熱材等)					
		冷媒					
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮	新エネルギー等設備導入、修繕のし易さに配慮	3.2	0.33	-	-	3.2
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		1	3.0	0.25	-	-	
		2	3.0	0.25	-	-	
		3	3.0	0.25	-	-	
		4	3.0	0.25	-	-	
		雨水排水負荷低減					
		汚水処理負荷抑制					
		交通負荷抑制					
		廃棄物処理負荷抑制					
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
		1	3.0	1.00	-	-	
		2	-	-	-	-	
		3	-	-	-	-	
		騒音					
		振動					
		悪臭					
	3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40	-	-	
		1	3.0	0.70	-	-	
		2	3.0	-	-	-	
		3	3.0	0.30	-	-	
		風害の抑制					
		砂塵の抑制					
		日照障害の抑制					
	3.3	光害の抑制	3.7	0.20	-	-	
		1	4.0	0.70	-	-	
		2	3.0	0.30	-	-	
		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					
		壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					
		広告物照明を行っていない。					